



令和2年度 学校便り 1月号

うわば

明るく 正しく たくましく

湧水町立上場小学校

http://www12.synapse.ne.jp/uwaba_es/

「読解力」は生きる力

校長 安藤 政英

子供たち全員元気で3学期を迎えることができました。たいへんうれしく思います。

さて、昨年1月は、お年玉をどのように使うか、子供と話し合って決めさせることを通して、18歳までに適正な金銭感覚を身に付けさせてほしいと書きました。その思いは変わりません。今年はお金と学力（読解力）の話です。

コロナ禍における支援策として、給付金やGoTo関連の割引・商品券の交付などがありました。加えてマイナポイントというものもありました。これらは名前や形式こそ異なりますが、どれも期限内の申請によって得られるお金の話です。その申請手続きのわかりにくさが話題になりました。私は一連の申請手続きを通して、これを理解するには、まさに「読解力」が必要だなと感じました。現行の学力調査問題を自分で解いてみると同じ気分です。デジタルか紙かは、わかりにくさの本質ではありません。学力テストで無回答を減らすことは課題の一つですが、これは必須記入欄の無記入で申請がはねられる点に通じます。期限と制限時間は同じことです。つまり、これからの世の中、読解力がないと損をする（経済的な機会損失を被る）ということではないでしょうか。

デジタルのベールを剥がせば見える「読解力」こそAI時代に不可欠な「生きる力」です。クリスマスプレゼントやお年玉がゲーム機やゲームソフトに化けていなければいいのですが…。

◆ 子供たち手作りの門松 ◆

新年を迎える準備として、1・2年生の子供たちが門松を作りました。門松が年の神様（福の神様）の目印になることや、松の「まつ」と（神様を）まつるの「まつ」をかけていることなども学習しました。漬け物樽の土台に三本組の竹を立て、砂を入れ、松、梅、ユズリハ、葉ボタン、南天の実を飾りました。自分たちで作った門松を見ながら、子供たちは満足気な表情を浮かべていました。



◆ ねったぼ作り～総合的な学習～◆

3・4年生が総合的な学習「見つめようふるさとの味」で育てたサツマイモを使って、郷土料理「ねったぼ」を作りました。例年ですと、高齢者の方を招いて交流するのですが、コロナ禍でやむを得ずの活動になりました。最近では市販のお菓子を食べる機会が多い子供たちですが、サツマイモの素朴な味に「おいしい。」「またやりたい。」と言いながら頬張っていました。



◆ 3学期スタート ◆

1月8日（金）、保護者、地域の方々に見守られながら元気に登校した上場っ子は、全員揃って始業式を迎えました。始業式では、それぞれが今年の抱負を堂々と発表してくれました。

3学期は令和2年度の集大成の学期。子供たちは、様々な活動をとおして益々の成長を遂げていきます。これまでと変わらず、多くの御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



< 1年の抱負の発表 >



1月後半・2月の行事予定

- 19・20日（火・水）CRT学力検査
- 29日（金）調理員との交流給食
- 2/9日（火）新1年生体験入学・入学説明会
- 11日（木）建国記念の日
- 12日（金）PTA定例会
- 13日（土）鹿児島国際大学生との交流
- 21日（日）町ウォークラリー大会
- 23日（火）天皇誕生日
- 26日（金）学校運営協議会

入賞おめでとう！

<町福祉作文コンクール>

【優秀賞】2年 T・Iさん
5年 T・Sさん S・Kさん

<県児童生徒作文コンクール>

【入選】1年 S・Fさん
5年 M・Mさん

<税に関する絵はがきコンクール>

【佳作】5年 T・Sさん

<かごしま絵手紙コンクール>

【優秀賞】5年 M・Mさん

